

府中教室の周辺で草花を採取し、押し花をつくりました。指導員のアイデアで押し花を組み合わせて「しおり」にしました。
垂井町の豊かな自然を味わいつつ、教室を仲間たちと仲よく過ごせる居場所にしていくことを目標に、保育の質の向上に取り組んでいます。



宮代教室では、みんなで静かに勉強の時間を過ごします。新入生の子どもたちも指導員の見守りを受けてがんばっています。
今年は、教室の入り口の天井にツバメが巣をつくりました。思いやりの気持ちで巣立ちを見守っていきます。



今年度の垂井教室は、利用人数が増えたため2クラスになりました。たくさん子どもたちが違う学年のなかで過ごします。
指導員も子どもたちの安全に気を配りながら楽しい教室を目指しています。
自由時には好きな遊びをします。この日は、どこからか捕まえてきたトカゲに夢中です。あとで自然に返してあげましょう。



表佐教室では、学校が終わると、留守家庭教室へ登室する子どもたちで校庭に並びます。指導員のお迎えにテンションが上がってしまう時もありますが、きちんと出席確認を行います。
そして、子どもたちが教室にそろうと、指導員が子ども一人ひとりの様子を確認し、変わったことがないかどうか見るようにしています。



手作りコマを回しています



東教室は利用人数が57人と一番多く、2クラスに分かれています。指導員手作りの紙芝居をみんなで聞き入ったり、保護者のお迎えで人数が減っても、自分で考えて時間を過ごすことができます。
指導員は子どもたちが留守家庭教室で楽しく過ごしてほしいと、新型コロナウイルス感染症の対策に苦労しながらも季節にあったイベントなどいろいろ工夫することに日々努力しています。

